

～インタラクシオンデザイン・ワークショップ～ 公開 WS “「技術士」をデザインする” を開催

1. はじめに

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上、「技術士」の知名度向上を目的として、定期的に講演会、ワークショップを開催しています。

今回は、前回の勉強会に引き続き、札幌市立大学から福田先生を講師にお迎えし、『インタラクシオンデザイン』について講演して頂いた後、『クルクルスケッチ』というアイデア・ブレインストーミング手法を実践する公開ワークショップを開催しました。

2. 開催概要

○日時：平成 26 年 9 月 24 日(水)

○場所：sapporo55 ビル 1 階インナーガーデン
(北 5 西 5 紀伊國屋書店札幌本店前)

○参加人数：50 名程度(うち WS 参加者 36 名)

○プログラム

・ 17:00～20:00

・ 講演会

札幌市立大学

デザイン学部 デザイン学科 デザインコース

講師 福田 大年 氏

・ ワorkshop

『クルクルスケッチ』による

ブレインストーミング実践

3. 講演会 “「技術士」をデザインする”

講演会では、福田大年先生より、「インタラクシオンデザイン」の概念やデザインの創出、また、先生が考案された『クルクルスケッチ』と呼ばれるブレインストーミング手法の方法や実践事例についてご講演を頂きました。

「インタラクシオン(interaction)」とは、「相互」という意味の「inter」と、「行為」という意味の「action」を組み合わせた言葉であり、「インタラクシオンデザイン」とは、狭義に「システム」(制御システムから、PC やスマートフォンなどを含む)と「人」が相互に繋がらう機能のデザインを意味します。具体例として、発電所のような人為的な操作ミスが許されない「システム」や、複雑かつ膨大な情報を持つスマートフォンや PC などの「システム」と「人」が、正確かつ使いやすくやりとりを行うデザインを紹介され、そのデザインを生み出すため工程として、「発想」→「試作」→「実践」→「分析」のサイクルによるスパイラルアップについて解説をされました。



写真-1 福田大年先生による講演

次にアイデア創出のための手法である『クルクルスケッチ』について、パンの新製品開発を通じた就労支援施設における自立支援等の具体例等を変え、本手法の概要について解説を頂きました。

4. 『クルクルスケッチ』による ブレインストーミング実践

講演会に続き、ワークショップとして、本委員会のメンバーや一般参加の技術士、技術士補、大学生が1つのグループ(6人1組、6グループ)になり、

「技術士をデザインする」を題材に『クルクルスケッチ』によるブレインストーミングを実施しました。



写真-2 『クルクルスケッチ』体験の様子

ワークショップでは、手法の考案者である福田先生にご司会頂き、

- ①スケッチ・トレーニング
 - ・丸などの簡単な図形でスケッチに慣れる
- ②スケッチによる自己紹介
 - ・自分を食べ物に例えてスケッチ
- ③スケッチキーワードのくじ引き
- ④クルクルスケッチの実施
- ⑤共有(良案への投票)

という流れで実施しました。

『クルクルスケッチ』は、各メンバーがスケッチブックを持ち、それを隣のメンバーにクルクル回して追記する方法で行いました。また、題材として「技術士」を連想するキーワード「国土の夢を実現するプロ」、組み合わせるキーワード「集めたくなるお土産」などとする事で、「技術士」を一般の方に広く知ってもらうためのPRツールのアイデア出しをイメージしました。また、創出されたアイデアは、参加者の間で投票という形で共有・振り返りをしました。

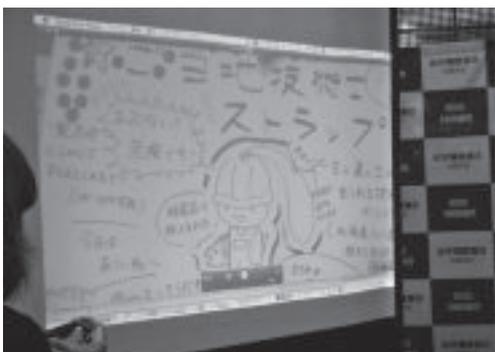


写真-3 『クルクルスケッチ』で得られたアイデア例

成果として、「技術士」をイメージするストラップや眼鏡、パズルなど、興味深いアイデアがたくさん出されました。また、創出されたアイデアは、一人のアイデアに複数の人のアイデアが付け加えられることで洗練され、改めて『クルクルスケッチ』の有効性を確認することが出来ました。

5. おわりに

今回の講演会・ワークショップで、『クルクルスケッチ』の実践や、「技術士」を参加者の方や聴講者の方に知って頂くこと、また、更に一般の方へ「技術士」を知って頂くためツールのアイデアを得ることができました。

お忙しいところ、前回は引き続き、講演会・ワークショップの講師を快く引き受けてくださった福田先生に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上を目指して、今後も定期的に研修会を開催していくとともに、技術士の知名度向上に向けて、新たな活動にも取り組んでいきたいと考えています。幹事一同、皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

青技交オリジナル技術士PRグッズ、作ります！

前回に続き、ワークショップでのアイデア・ブレインストーミングの対象は「技術士のPRツール」。

前回・今回で出された50個のアイデアより、次年度、青年技術士交流委員会オリジナルの「技術士PRグッズ」を作成することになりました！

詳細は、下記のfacebookや次号のコンサルタンツ北海道にて紹介します。

もう、facebookをチェックいただけましたか？

当委員会が主催する研修会などの情報を随時発信しています。facebookアカウントをお持ちの方は「青年技術士交流委員会」で検索し、「いいね！」をお願いします。

※『クルクルスケッチ』の手法については、前号のコンサルタンツ北海道、青年技術士交流委員会の活動レポートをご参照ください。